

はる しょくぶつ 春の植物

❀ ジンチョウゲ

ジンチョウゲ科の常緑低木、3月頃に

強い芳香の花が咲きます。この名は沈香

(香木の名)と丁子(ジンチョウゲに形

が似ている)に由来します。花びらと思われる

部分は「ガク(花びらの下にある小さい葉のようなもの)」なのです。



❀ ヤマザクラ

バラ科の落葉高木。3月～4月頃に花が咲きます。一般的

に桜は花が散り始めると葉が出ますが、ヤマザクラ

は花と葉が同時に出るという特徴があります。

桜の中では寿命が長く、大木になります。古く

から和歌に詠まれるなど日本人には馴染み深い花です。



❀ ボケ

バラ科の落葉低木、3月～4月にかけて花が咲きます。

秋に実る果実は硬く小リンゴに似ており、

果実酒やジャムに加工されます。木になる瓜、

「木瓜」と昔は呼ばれていましたが、それが

訛り「ボケ」になったといわれています。



❁ コブシ

モクレン科の落葉低木、花の見頃は3月

～4月です。ボコボコした実の形が人の

拳に似ているからこの名が付いたといわれ

ています。乾燥させたコブシは「辛夷」といい、

生薬（漢方薬の一部）にも用いられています。



❁ モクレン

モクレン科の落葉小高木。3月～5月にかけて花

を咲かせます。モクレンの蕾を見ると、全て

北を指しています。太陽が当たる南側の

成長が活発になることで花のバランスが

崩れるためです。このため、モクレンは

「コンパスプラント」ともいわれます。



❁ ユキヤナギ

バラ科の落葉低木。3月～4月頃、

柳のように垂れ下がった枝に小花をたくさん

咲かせます。散った花が地面に積もり、雪の

ようにも見えることからこの名が付きました。

小花を米に見立て、「小米花」ともいわれます。



❁ アセビ (アシビ)



ツツジ科の常^か緑^{じょうりよくてい}低^{しょうこうぼく}～小^{がつ}高^{がつ}木。3月～4月にかけてスズランに似た釣鐘^に状^{つりがねじょう}の花^{はな}を咲^さかせます。葉^はが有^{ゆう}毒^{どく}で、馬^{うま}が食^たべると神^{しん}経^{けい}が麻^ま痺^ひし足^{あし}が痺^{しび}れるため、「足^{あし}痺^{しび}れ」が変^{へん}化^かして「アシビ」となったといわれます。漢^{かん}字^じ表^{ひょう}記^きで「馬^あ酔^し木^び」と書^かくのもこのこと^{こと}に由^よ来^{らい}します。

❁ ツツジ

ツツジ科の落^{らく}葉^{よう}低^{てい}木^{ぼく}、4月～5月^{がつ}が見^み頃^{ころ}です。古^{ふる}くから園^{えん}芸^{げい}品^{ひん}種^{しゆ}として改^{かい}良^{りょう}され、多^{おほ}く品^{ひん}種^{しゆ}が生ま^うれました。ツツジの蜜^{みつ}は甘^{あま}く、第^{だい}二^に次^じ世界^{せかい}大^{たい}戦^{せん}中^{ちゆう}は子^こ供^{ども}た^たちが蜜^{みつ}を吸^すう姿^{すがた}がみ^みられま^なしたが、レ^なンゲツツジ^{なかま}の仲^な間^まには毒^{どく}性^{せい}の強^{つよ}いもの^{ちゆう}がある^いのでご注^{ちゆう}意^いくだ^いさい。



❁ サツキ

ツツジ科の落^{らく}葉^{よう}低^{てい}木^{ぼく}。ツツジの一種^{いっしゆ}で、少^{おそ}し遅^ちく5月^{がつ}6月^{がつ}に花^{はな}を咲^さかせるもの^{さつ}を皐^{いん}月^{れき}（陰^{いん}曆^{れき}の5月^{がつ}）にち^なんで名^な付^づけたよう^{はん}です。繁^{はん}殖^{しよく}力^{りよく}が強^{つよ}く、渓^{けい}流^{りゆう}の岩^{いわ}場^ばのよう^かな過^か酷^{こく}な環^{かん}境^{きやう}で生^{せい}育^いするた^めめ、江^え戸^ど時^じ代^{だい}か^ら庭^に木^きや盆^{ぼん}栽^{さい}と^{して}親^{した}しま^れてい^ます。

